



Title	新年のごあいさつ
Author(s)	江部, 高廣; 辻野, 守典; 關, 淳一 他
Citation	makoto. 1995, 89, p. 2-5
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/85908">https://doi.org/10.18910/85908</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 新年のごあいさつ

## 新しい年の始めに



大阪府環境保健部長

江部 高 廣

謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

近年、我が国における高齢化の進展は、世界でも例のないほど急速に進んでおり、平均寿命は男女とも世界最高水準となっております。

一方、豊かな社会の中での疾病構造の変化や都市生活を背景とするストレスの増大など、健康に関する課題も山積しております。また、海外におきましては、昨年のインドにおけるベストの流行に見られますように、我が国に常在しない伝染病も多々発生しており、国際交流の活発化による我が国への流入の危険性も増大しております。

こうした状況の中、本府におきましては、「健康都市・大阪」の実現を目指して、保健衛生分野における総合計画の策定に取り組んでおります。また、関西国際空港の開港に際しましては、ラッサ熱などのウイルス性出血熱にも対応できる高度安全病床を有する市立泉佐野病院の伝染病棟を国とともに整備したところでございます。

今後、こうした施策を積極的に推進することにより府民の健康の保持・増進に少なからぬ貢献をしてみたいと考えている次第でございます。

貴協会並びに関係者の皆様には、日頃から防疫の充実に献身的なご貢献をいただいているところでございますが、今後とも本府環境保健行政の推進にご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様の今後ますますのご発展とご活躍を心からお祈りいたしまして、私の新年のご挨拶とさせていただきます。



財団法人 大阪防疫協会

理事長 辻 野 守 典

明けましておめでとうございます。

昨年中は何かと御指導、御鞭撻賜りまして有難うございました。厚く御礼申し上げますとともに、本年もよろしく御願い申し上げます。

さて、記録づくめの暑い夏もようやく去った昨年の10月中旬、すばらしい黄葉の上高地を訪れる幸運に恵まれました。日の出の光に映える山々の峰、黄葉する山々を池面に写す神々しいばかりの大正池のすばらしさに、我を忘れてカメラのシャッターを切ったあの感動がよみがえって来ます。今頃は河童橋の雑踏もうそのように、白銀の静寂に返っていることでしょうか。すぐれた自然を守るための努力の大切さを痛感いたします。

ところで「ホタルの放流中止を」の聲が上がっているようですが、「ヒメボタルは生息地環境に応じて、体長や発光パターン、遺伝子が異なっている」高地に生息するタイプは9mmと大型、低地に生息するタイプは6～7mmと小型、大型と小型は交雑はするが子供は生まれません。「ヒメボタルのメスは1回しか交尾しないので子孫を残せず種の絶滅につながる可能性がある」と言われています。

「ホタルは移動の範囲が狭くそれぞれの生息環境に適応する姿に進化して来た」「ゲンジボタルも発光間隔や遺伝子に東日本と西日本では違いがある」ことが分かって来ています。

古くより「ホタル」は日本人の文化と深いかわりを持って来たと思われれます。自然界では種の交雑は出来にくいように(または起らないように)本当にうまく出来ています。もし交雑が起っても近縁の種でなければ卵細胞の分裂は起らないのではないのでしょうか。しかし、人間が深く考えることなく対処すれば「ニホンキジ」と「コウライキジ」のような交雑が起ってしまうこととなります。生物の種の保存が人間生活にとっても、どれだけ大切なことか今日問われています。

## 新年のごあいさつ



大阪市環境保健局長

關 淳 一

新年あけましておめでとうございます。

平成7年の新春を迎え、財団法人大阪防疫協会の皆様の御多幸と御繁栄を心からお祝い申し上げます。

旧年中は、本市の環境保健行政をはじめ市政に格段の御協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、21世紀を間近に控え、昨年9月、日本の新しい玄関口として関西国際空港が開港し、私たちの大阪はまさに「平成の開国」ともいえる本格的な国際化時代を迎えました。新空港の開港を契機として、大阪市では新しい時代に向けて、生涯を心豊かに暮らせる人間主体のまち、世界に貢献するまちづくりを進め、人と環境にやさしい、文化の香り高い「世界都市大阪」を築いてまいります。

環境保健局では、だれもが安心して暮らせる、「人にやさしいまちづくり」をめざし、21世紀を展望した高度専門医療を担う大規模高機能の医療機関として、市立総合医療センターを開設する等医療の充実に努めるとともに、病院跡地を有効に活用して老人保健施設、健康関連施設の整備を進めております。また、そ族昆虫駆除の分野では、なお一層高まっております市民の快適な環境に対するニーズに応えるため、従来から行っております諸事業に加え、環境衛生教育の一環として生きた昆虫等の啓発媒体を利用した衛生害虫・不快害虫の駆除及び住環境についての相談・啓発事業を行うなど、積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

これら事業の推進にあたり、貴協会がこれまでに培われてきた環境整備における豊富な知識、経験と高度な技術は、本市にとりましても誠に心強いものであり、今後とも相変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

## 新年のごあいさつ



堺市環境保健局理事  
兼衛生部長

大 保 雅 嘉

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

皆様には、すがすがしい初春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

旧年中は、本市環境保健行政に各段のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の本市衛生行政を取り巻く情勢は急速な高齢化などの社会情勢の変化や、市民ニーズの多様化などにより大きく変化しております。さらに、近年の経済情勢の低迷による影響は本市にとりましても例外ではなく財政状況は非常に厳しい状況にあります。

このような状況の中におきましても市民の方に対するサービスの質を低下させることなく、多様な市民ニーズに対応した環境保健行政を推進しつつ、昨年国会において制定・施行された地域保健法へも対応してゆく所存であります。

また、本市の大きな目標といたしまして、今世紀中に政令指定都市への移行を掲げております。今後、本市における環境及び保健衛生サービスを質・量ともにより一層充実させ、政令指定都市にふさわしい衛生行政の体制整備に努めて参ります。

さらに、本市では市民の健康づくりを支援するため「堺市民健康生きがいづくり基金」を活用し「ふれあいウォーク」、「ふれあいコンサート」などを開催し心身両面にわたる市民参加型の健康づくり事業をおこなっております。

これらの取り組みにより市民がいきいきと健康に暮らし、堺が住み良いまちであり続けるために、今後とも貴協会のより一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



東大阪市保健衛生部長

金 木 義 直

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

旧年中は、本市の保健衛生行政に格段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では「人間尊重に根ざした市民都市の創造」を基本理念とした新基本計画を策定しております。

「こころ豊かにいきいき暮らせる人と自然にやさしいまち」の実現をめざし、真に豊かさが実感できる東大阪市を創造するため、福祉や教育・スポーツ・文化の充実とともに自然とやさしくふれあう生活環境づくりをさらに進めてまいります。

近年、地域保健対策を巡る状況は著しく変化しておりますが、本市では市民の多様なニーズに対応した、きめ細かな保健サービスの実施に努めてまいりたいと考えております。

予てより設立の準備を進めてまいりました市立新総合病院は、平成9年度の完成をめざして、本年夏には着工の予定であります。

また、昨年10月30日には花園中央公園で、子供からお年寄りまですべての市民の方に、楽しみながら健康づくりをしていただくために「元気シテイ'94東大阪市民健康まつり」を開催いたしました。

健康展のコーナーやファミリーマラソンなどの楽しいイベントに、延べ15万人の方が参加され、秋日和のもと、会場は一日中、大きな拍手や歓声と、健康に感謝する市民の熱気に包まれておりました。

さらに、伝染病の予防と生活環境の改善を図るため、防疫事務所では衛生害虫等の駆除事業の円滑な推進に努めておりますが、市民の方に自然との調和や害虫駆除の重要性を理解していただくために「昆虫などの相談展示室」を開設いたしました。

今後こうした保健衛生行政の展開をさらに充実させるため、貴協会のなご一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



阪急電鉄株式会社

鉄道本部 運輸部 管理グループ調査役

寺 西 康 祐

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え皆様方にはますますご清祥のことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、当社業務に格別のご協力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、バブル崩壊以降の平成不況も30ヵ月で終焉を告げたとされていましたが、依然として円高不況は続き本格的な景気回復はまだ見えず、また異常気象や混沌とする政治状況が様々な形で影響を与えた年でした。

当社におきましても、ご乗客の数が伸び悩む状況にはありますが、昨年に引き続き高架化工事や駅のエスカレーター、エレベーター新設工事等、お客様に優しい鉄道をめざし積極的に取り組んで参りました。

今年も景気は回復基調にあるとはいえ、まだまだ厳しい状況が続き、楽観は許されるものではありません。こういった時期こそ積極的な事業展開がより必要だと思います。

当社も、昨年から新たな事業として流通本部を設け流通事業に本格的な取り組みをしました。今年はこの事業を軌道に乗せる年だと考えています。駅構内に物販店等を設けお客様の利便を図ります。併せて多様化するご要望にお応えするため「安全の確保」は当然のこととしながら、皆様方のより一層のご支援・ご協力を頂戴しながら駅美化に努め、お客様に愛され親しまれる阪急電鉄をめざし努力する所存でございます。

最後になりましたが、貴協会のますますのご発展と皆様方のご活躍、ご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のごあいさつ



南海電気鉄道株式会社

鉄道事業本部 運輸部 営業課長

細井 康史

新年あけましておめでとうございます。

皆様にはつつがなく新春を迎えられ、ご多幸とご繁栄を心からお祈りを申し上げます。

日頃は当社業務に何かとご高配をいただき、衷心よりお礼を申し上げます。

さて、緩やかな景気の回復が伝えられ、今年の9月には待望の関西国際空港の開港が、直接、間接的に与える経済効果は95年度には1兆数千億円、成長率への寄与が1.37%にあると予想されています。

このような状況の中で私どもは、関西国際空港への基幹アクセスとして、特急ラピートや空港急行を運行するとともに、なんばCATはじめ種々の輸送サービスを提供し、海外を含む多くのお客さまにご利用いただき、その役割を果たしておるところでございます。

また、係員も英会話等の習熟に努め、設備と人との調和のとれたサービスにも心がけております。

このようなサービスで最も肝心なことは、環境の保持ではないかと思っております。

この点では、日頃から貴会にご尽力いただいておりますのでございますが、遠来のお客さまが日本の地を最初に踏まれるのが南海圏であることを想い、貴会の豊富な経験と技術をご提供いただき、環境の保持に努めたいと存じております。

最後に、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたし、新年のご挨拶とさせていただきます。

## むつき 「正月のついたちに 思うこと」



関西テレビ放送株式会社

総務局 秘書部長兼総務部長

丸山 昭男

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年も変らぬご交誼の程よろしく願いいたします。

毎年正月1日に思うことですが、日捲りが1枚変わるだけで、人の気分がこうも劇的に変化するのは大晦日と正月元旦以外にありません。かの清少納言女史も「近くて遠きもの師走のつごもり、正月のついたち」と新しい年にかかる思いを述べていますが、1年の初めを改まった気持ちで迎えようとする心は今も千年の昔も変りがないようです。

1年の計り事に思いをめぐらすのも正月恒例の行事です。今年こそ頑張ろうと色々な計画を立てるのですが、秋風が吹き、日捲りの枚数が少なくなってくると、あれも未完成これも不十分と反省の日々が続きます。それでも大晦日を迎え、百八つの除夜の鐘の音を聞くとすべて「御破算で願いましたは」と、綺麗さっぱり忘れることにしています。

そんな中で、8年前から毎年欠かさず続けている事があります。日本全国50ヵ所の桜の名木めぐりです。京都・円山公園の「垂れ桜」から始め、去年の長野市の素桜神社で見物した樹齢1200年の「神代桜」まで13本の桜の老樹と対面しています。

どの桜も心に強く感じて忘れがたいものがありますが、特に印象的なものは日本武尊が植えたとい伝承される日本最古・樹齢1800年の「山高神代桜」（山梨県北巨摩郡実相寺境内）、散り際に薄墨色に変化する「根尾谷の淡墨桜」（岐阜県根尾村・樹齢1400年）、兵庫県出石城の殿様が駕籠に揺られて見物したと伝えられる樽見の大桜（兵庫県大屋町・樹齢1000年）などがあげられます。

樹齢1000年を越える老樹の前に佇むと時の重さに圧倒され、畏敬の念を抱くとともに、素直な気持ちになれるのが不思議です。